



## 和菓子の魅力を感じて

いきいきライフ講座（7月3日）



▲季節の情景を豊かに表現できることが上生菓子の魅力です。講師による作り方の実演と説明の後、参加者は夏をイメージさせる紫陽花きんとんと朝顔の2種類を作りました。初めて上生菓子を作る参加者も多く、講師のアドバ

大山田保健センターで、今年度2回目となる大山田公民館教室いきいきライフ講座を開きました。今回は講師に倉阪浩充さんを招いて和菓子を作りました。

講師による作り方の実演と説明の後、参加者は夏をイメージさせる紫陽花きんとんと朝顔の2種類を作りました。初めて上生菓子を作る参加者も多く、講師のアドバ

イスを受けたり、互いに工夫したりしながら取り組んでいました。

この日参加した20人は、季節感あふれる上生菓子作りを楽しみました。



▶紫陽花きんとん作り。あんをこしてそぼろ状にしたものを、丸めたあんのまわりに飾ります。

## キャタピラで遊んだよ

楽がきくらぶ（7月4日）



▲キャタピラで遊ぶ子ども

あやま文化センターで第2回楽がきくらぶを開き、ダンボールを使ったキャタピラ作りを行いました。

子どもたちは、家族と協力しながら、ダンボールをつなげた後、その表面にペンを使って絵を描きました。できあがったキャタピラの中に入り、ひざをついて前に進むとキャタピラが前進します。

この日はあいにくの雨模様となりましたが、センターの室内で子どもたちは元気いっぱい遊んでいました。



▲乗り物や動物などの絵が色とりどりに描かれました。

## 交通事故をなくそう!

夏の交通安全県民運動出動式（7月10日）

ハイトピア伊賀多目的広場で夏の交通安全県民運動出動式を行いました。

市立桃青の丘幼稚園の園児8人が警察官の衣装で登場し、「ぼくたち、わたしたちは、道路へ飛び出しません。」「車に乗るときは、チャイルドシートに座ります。」「車の運転に気をつけてね。」などのメッセージを発表しました。

園児から老人クラブの皆さんへ交通安全の願いを込めたメダルが手渡されると、かわいい贈り物に参加者は交通安全の決意を新たにしている様子でした。

このあと参加者は、多目的広場横の歩道に出て、街頭啓発を行い、通行する車の運転手に交通安全を呼びかけました。

- ▶街頭で啓発活動の「ミルミルウェーブ」を行いました。
- ▼「交通ルールを守るよ!」





## 伊賀の伝統に触れる

帯締め製作体験（7月11日）



▲今回は1回目の体験時に自分で取り付けた組台を使ってひもを組んでいきます。

青山公民館の帯締め製作体験は、組紐作家の中内中さんを講師とした3回連続講座で、2回目となる今回は組み上げ作業に挑戦しました。

組みひも体験の多くは、通常、組み上げ作業から行いますが、この講座では玉に糸を巻きつけて組台に取り付ける糸付けや玉付けの作業から行っています。参加者は講師のアドバイスを受けながら、慣れない手つきで一生懸命取り組み、伊賀の伝統的工芸に親しむ一日となりました。



▲講師の説明を受ける参加者

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など



### こども広場

「道路ふれあい月間」

道路は安全に生活をする

ために大切なもの

みなさんは、学校へ行くときや出かけるとき、何気なく道路を使っていますか。道路の役割は、まちとまちをつなぎ、人や物を運ぶことで、「生活を安全で便利にする」ことです。

伊賀市ではより暮らしやすいまちにするために、車や歩行者の数、山の中やまちの中など周りの状況に合わせて道路を作っています。

#### 8月は道路ふれあい月間

道路を利用している私たちが改めて道路とふれあい、その役割や大切さを知り、道路を大事にする心を育てることを目的に、毎年8月1日から31日までの1カ月間を「道路ふれあい月間」、8月10日を「道の日」と定めています。伊賀市では、期間中にパトロールをしたり、「道の駅いが」でパンフレットを配布したりして、道路をいつも美しく安全に利用しようと広報活動などを行います。また、道の駅いがの情報休憩室では、8月31日

まで伊賀支所管内の保育園に通う年長児が描いた道路にちなんだ絵を展示し、道路の大切さを呼びかけます。

安全で便利な道路にするためには  
皆さんの協力が欠かせません

地域のみなさんには、期間中だけでなく日頃から道路の草刈りや清掃などをしてもらい、安全に道路が利用できるように協力してもらっています。

道路は、私たちの生活に欠かすことのできないものですが、あまりに身近なものであるために、その大切さを見失いがちです。一方で、道路の整備や管理をしていくには、住民のみなさんの理解と協力が必要です。

この道路ふれあい月間をきっかけに、みなさんも登下校などで道路を歩くと、改めて道路の大切さや大事に使うためにはどうしたらよいかを考えてみましょう。

道路は大切に  
使ってくださいよ！

#### 【問い合わせ】

建設1課

☎ 43・2321 FAX 43・2324



▲行政情報番組の「こども広場」に出演するにんにん博士